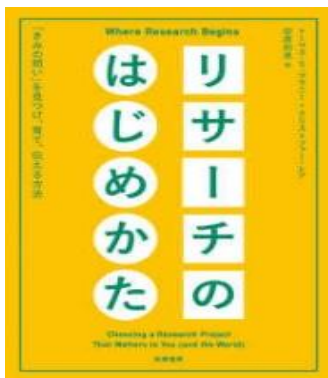


進級、入学おめでとうございます！  
18回生へのオリエンテーションも終わり  
館内でくつろぎながら過ごしているようすがみられます  
ぜひ学年をこえた情報交流の場としてください



## ■今月の新着図書から■



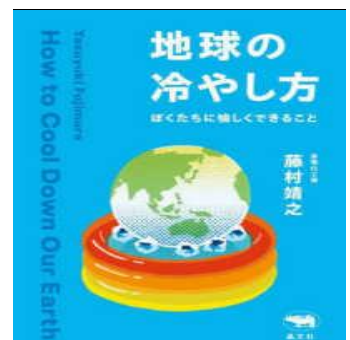
『リサーチのはじめかた』 分類 002  
トーマス・S・マラニー / 筑摩書房

「リサーチはどこからはじめたらいいの?」「問いの立て方がわからないのだけれど…」という人に。図解はなく読むのには根気もいりますが、高校生から一般まで幅広い人に読まれています



『寝る脳は風邪をひかない』 分類 491  
池谷裕二 / 扶桑社

池谷氏の専門「脳」の話かと思いきや、医療はもちろん、さまざまな世の事象を書いたエッセイ集。見開き2ページずつなので、とても読みやすいです。どのテーマに関心をもつかは読み手のあなた次第。



『地球の冷やし方』 分類 519  
藤村靖之 / 晶文社

気候変動、温暖化が世界的に懸念されていますが、事態は深刻化する一方。本のサブタイトルは「ぼくたちに愉しくできること」とありますが、思いのほか私にはハードルの高い提案が多い印象でした…。



『指先から旅をする』 分類 762  
藤田真央 / 文藝春秋

テレビでもしばしば見かけるピアニストの藤田真央さん。チャイコフスキーピアノコンクールで第2位を受賞するなど、繊細できらめく音は高い評価を受けています。そんな藤田さんが、いかにして音楽に向き合い、演奏をしているかがとてもよくわかりますよ。



『リラの花咲くけものみち』 分類 913  
藤岡陽子 / 光文社

幼い頃に母を亡くした聡里は、愛犬だけが心の支えだった。そんな彼女は祖母のもとで、引き取られたペットたちと暮らすうちに、獣医を目指すようになる。しかしその道はけしてたやすくはなかった。実習シーンはとてもリアルです！



『八秒で跳べ』 分類 913  
坪田侑也 / 文藝春秋

春高バレーの常連校の話というわけではなく、ごく普通の高校バレー部のおはなしなの、でてくる高校生の気持ちには寄り添いやすいかも。タイトルの8秒というのはラリーをする時間のこと。新学期がスタートした矢先、部活小説はいかがですか？

## この本、オススメ!

### 『13歳から鍛える 具体と抽象』 細谷功

東京経済新報社

「具体」「抽象」という言葉は知っていても、言葉で説明するとなると少し難しいかもしれません。でも、私たちは毎日のように「具体」と「抽象」を使いこなしながら生活していることが、この本を読むとよくわかります。勉強への効果だけでなく、人生も豊かになる「具体」と「抽象」の関係は、けして13歳だけではなく、大人にも頭の整理になりました!IB教育を受ける皆さんには、なおさらオススメです。



### ●「教科書に掲載されている 古典・近代文学の洋書」コーナーの移設

昨年まで館内検索機のそばにあった「教科書に掲載されている 古典・近代文学の洋書」コーナーですが、ここ数年で本が増えたため、窓辺の絵本コーナーの向い側にうつしました。これまでは英語の本が中心でしたが、中国語版や韓国語版も少しずつ加わってきています。

例えば、芥川龍之介の『羅生門』(英語版・中国語版・韓国語版)→3冊ならんでいます。

日本語で古典や近代文学を読むことが難しい人は、まず母語でチャレンジするのもおすすめです。

『源氏物語』『平家物語』『奥の細道』『伊勢物語』『人間失格』『山月記』……など多数ありますよ!

今後も増やしていく予定です。



**本棚**ここ数年入学式には間に合わなかった桜ですが、三月中旬の低い気温のおかげで今年は四月に入ってもしばらく満開でしたね。皆さんも春休み中からこちらで満開の桜を眺めることができたのではないのでしょうか。メディアセンターでも「友達と一緒に花見したよ」という人が写真をみせてくれました。でも桜ではなくお弁当の写真ばかり。どうやら「花より団子」だったようです。◀四月から雑誌のタイトルを一部入れ替え、あらたに「サッカーキング」「旅と鉄道」「装苑」というファッションの雑誌が入りました。関心のある人はぜひお休み時間に来てください。今年度も本のことだけではなく、皆さんと様々な話をしながらメディアセンターを運営していきたいと思っていますので、何か要望がありましたら気兼ねなく司書に声をかけてください(渡邊)